

2012年7月号

みんな好きやねん フェアプレー
スポーツ きみが主人公！
スポーツは平和とともに！

スポーツおおさか

発行者：新日本スポーツ連盟大阪府連盟

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15

三双ビル 2階

TEL 06-6942-4751 FAX 06-6942-4753

ホームページアドレス <http://www.osaka-sports.net>

メールアドレス office@osaka-sports.net

雨の中、『反核』『原発ゼロ』を訴えて走る！

7月1日（日）梅雨空のもと早朝より雨の中、府下各地10コースから反核平和マラソンが大阪城公園に向けて、スタートしました。



今年も24



府・市・町、18労組・団体からメッセージを受けての取り組み

みとなっています。

岸和田コース（40km）は朝7時に岸和田市役所から22名のランナーとサポートの車2台で、市当局の各種民主団体からの見送りを受けて、元気に走り出して行きました。途中8時には和泉市役所に到着し、給水休憩を取り、次の休憩地点の耳原鳳クリニックへと向かいました。

北は、北摂コースが島本町役場に7時に集合し、町側から激励や、島本町会議員、島本スキークラブからの励ましの言葉を受けて、16人が元気に走って行きました。このコースは、吹田市職労の宣伝カーの協力を得て、もう一台の伴走車がついていきます。高槻市、茨木市、吹田市とそれぞれ役所に立ち寄って、セレモニーも充実して、市当局の激励を受けて、ランナーも勇気をもって走りました。



河内長野コースでは、市長メッセージを小学2年生の子供が代読し、喝采を受けていました。今年、河内長野W&Rの会員以外の人が多く参加されて、10コース中37人の参加と一番多い取り組みになっていました。



また、長居公園からスタートする住吉コースも18人のランナーが走り、過去最高の参加となりました。

長居公園には、奈良王寺コースをはじめ5コースが集合するとあって、109人のランナーが大阪城公園へと向かって行きました。

昨年から本格参加の西淀川コースも16人の参加でビラを見て、若者の参加があつたりして、元気に大阪

城公園にゴールしてきました。

今年は、大阪市内を走る「なにわの街」コースが新設され、平和マラソンの幅も広がっています。

ゴール地点の大阪城公園では、大阪ウォーキングクラブのメンバーと6人がテントをはり、冷やしトマト、冷やし麦茶の準備をしていました。

13時過ぎには、各コースが大阪城公園噴水前に集まりだし、少し小止みの中で「平和宣言集会」を行い、「原発ゼロ」「核兵器なくそう」を確認して、第31回反核平和マラソンの成功を祝いました。

なお、平和マラソン行事を通じて、アピール署名168筆、被爆者援護カンパ17,300円が寄せられ、大阪原水協へ届けられました。

第31回関西網の目「反核平和マラソン大会」

関西網の目「反核平和マラソン大会」を私が知ったのは、大阪快走クラブの会員になってからでした。長い距離を走れる様になり、枚方コースを手始めに岸和田、奈良王寺、北摂と毎回コースを変えて参加、2011年には広島・長崎500キロ反核平和マラソンに参加しました。その時に沿道から車の中からと多くの声援を受けて走って、反核を訴えながら走るこの運動の大切さを理解し自覚出来ました。この経験、体験をしたことが私の「反核平和」への思いを強くしたのは、間違いありません。

その年は関西網の目「反核平和マラソン大会」は、30周年の大きな節目の年を迎え、長年運動を支え続けた関係者でレセプションが開催され、私はその先輩達の声聞き、姿を見たくて参加しました。その時に事務局からコメントを求められ「新しいコースを作ります」とお酒の力か公言してしまい、「ぐるり浪速の街コース」立ち上げのきっかけとなりました。

しかし、直ぐには行動できませんでした。仕事が忙しくて時間が作れず焦りの時間が過ぎるだけでした。第31回平和マラソン大会の1回目の実行委員会の開催日を知り、事務局に委員会に参加したいと伝えました。実行委員会までにコースを試走して、クラブの仲間に協力を依頼しないといけない、休暇を取り試走を終えて、仲間に協力を依頼する段階で戸惑いがあり、断られたらどうしようと不安でなかなか言えません。しかし、時間が無い駄目なら一人でも走ろうと思い、仲間に「一緒にやらない?」「ええで」とあっさり返事がきて、この時は本当に嬉しかったです。実行委員会でのやり取りを聞き、前年資料と事務局のアドバイスを得て、当日を迎えました。

当日の朝は、激しい雨でランナーが集合場所に来るのか心配でしたが、予定の時間にスタートしました。ランナー9人、スタッフ3人（2人はランナーの幼い娘さん）で大阪市内のど真ん中を「反核平和・原発ゼロ」を訴えて20kmを3時間かけて完走しました。

これからも新しい若いランニング仲間を増やし、クラブを大きくする努力をして、私達の「スポーツは平和とともに」のスローガンを掲げ、地球上から核兵器が無くなり原発もゼロになり、誰でもがスポーツを文化として楽しみ暮らせるまで走ります。参加の皆さん共に頑張りましょう！



大阪快走クラブ 瀧端 美津雄

ありがとう
若き戦士!!



石井 彩恵 (いしいさえ) 5歳
応援の声が聞こえますように！と思って車から声を出していました。いろんな人に会えて楽しかったです。これからもみんなを応援したいです

石井 陽菜 (いしいはるな) 8歳
応援をお願いされたときから、走るみなさんの頑張る姿を想像して私も車の中から応援を頑張ろうと思っていました。応援できてとても嬉しかったです。これからも役に立てることがあればやりたいし、一緒に走ってみたいです。

反核平和マラソン大阪実行委員会まとめ会議開く！

7月13日(金)反核平和マラソン大阪実行委員会のまとめ会議をスポーツ連盟事務所で開催されました。9コース代表12名が出席して、今年の反核平和マラソンについての反省や来年度に生かしていく内容について、各コースから意見が出されました。

まず、園生 一行実行委員長から成功に向けての各コースの奮闘の労をねぎらう挨拶があり、川野 弘之事務局長より、今年の見組みのまとめ提案が行われました。

報告では、雨の中、時には激しい雨の中での開催であったが、各コースの落ち着いた見組みで無事事故なく終えた事、31年の伝統を守り、サポーターを入れて188人の見組みになったことが報告されました。

また、まとめ会議を含めて4回の実行委員会は、各コースフル出席で充実した会議となったこと、そのことが成功に大きくつながったことが出されました。

会議では各コースまとめられたアンケートに基づいて報告され、河内長野コースは全コースの中で一番多い参加者となったことや、住吉コースも過去最高の参加者になっていることなどが発表されていました。

新しく取り組んだ「なにわの街」コースでは、「今回は初めての見組みで、みんなを引率するのがやっという思いだったが、来年は反核平和をもっとアピールして走りたい」と決意が出されていました。

雨の中で「平和宣言集会」が短時間となったことで、セレモニーをもっと充実させていく必要があるなどの意見があり、来年に向けての課題も出されていました。

実行委員会として、8月5日の広島集会に瀧溝 美津雄氏を派遣し、全国での経験交流で、大阪での見組みを報告してもらうことにし、会議を終えました。

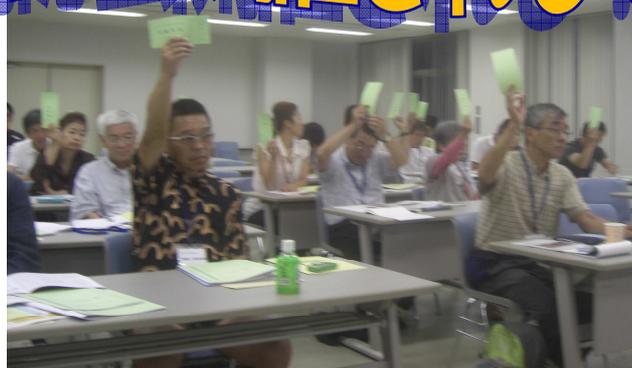
第46回府連盟定期総会開催される！

7月8日(日)午後1時30分より「第46回府連盟定期総会」が大阪市・鞆テニスセンター会議室で開催されました。

小東 喜久次副理事長が開会の挨拶を述べ、議長団を選出して、議事が進行していきました。

最初に理事会報告を川野 弘之事務局長が行い、配布されている議案書に添って報告がありました。

東日本大震災の支援の見組みや「東北復興支援の全国スポーツ祭典」として大阪では野球大会を引き受けて取り組んでいることや、マラソングームで府連盟のマラソン大会に3,693人が参加していることや、反核平和マラソンは、



「スポーツは平和とともに」を掲げて10コース160人が激しい雨の中を「核廃絶」「原発ゼロ」を訴えて走ったこと、また大阪市の「市税改革プラン」は大阪市民に総攻撃を加えてきている内容などが報告され、この1年間の総括と共に各種目の活発な発言と交流を深め、元気の出るスポーツ活動、連盟活動の実現を呼びかけました。

討議では、各種目がこの1年間の活動を通じての経験や教訓が出され、卓球協から年間20回の大会を開催し参加者から喜ばれていることや、東日本大震災での支援で大会参加者に1人100円の義援金を呼び掛けている事、スキー協でも東北の子供たちにスキーの喜びをとり組んできたことや、バレー協では参加クラブの減少について、学校のクラブがなくなっていることや、女子クラブでは結婚出産でメンバーが揃わず、解散になっているなどが報告されました。

又、バドミントン協からは、大阪市の改革プランによるスポーツセンター、プールの削減について利用者から怒りの声が出ていることが報告され、スポーツ連盟としても市民団体と共同して運動していく事の大切さが出されていました。

また、7月1日の反核平和マラソンは、府下10コースで実施し、24の自治体、1議会、18労組、団体からメッセージを受けて取り組まれたことが報告されました。

また、質問も出され、「原発ゼロ」を方針に入れるべきだ、種目分担金の問題、事務局長の任期の問題、労山の加盟についてなどは、次の理事会の討議議題としてその後報告していく事が了承されました。

総会は1号議案、2号議案（決算・予算）を全員一致で採択され、次の1年間の活動の先頭に立つ5役と、理事、会計監査、計15名を選んで総会は終わりました。

スポーツ連盟 各種目組織の総会だより

＜大阪テニス協会＞

6月10日（日）午後12時～靱テニスセンター会議室にて第38回定期総会を開きました。

志賀 万喜子理事長は「スポーツは平和とともに」をモットーに活動を進めています。協会は連盟員、皆さんが主人公です。「スポーツ 君が主人公」をスローガンにテニスを生涯スポーツとして楽しめるよう、皆さんの希望と要求に基づいて、今年も運営や活動を進めていきたいと思っています。

と挨拶報告し、この1年間団体リーグ戦での加盟が進み、74クラブ、530人と100人増で総会を迎えたことを述べました。

総会では「テニスルール問題」で講師を招いて、テニスルールについての解説があり、参加者からも「いい勉強になった」「ルールをきちんと学べてよかった」などが出されていました。

＜大阪サッカー協議会＞

第33回定期総会は、5月27日（日）アネックスパル法円坂（なにわのみやホール）で開催され、加盟77クラブの代表と審判を習得するメンバー40数人が参加して大ホールいっぱいの参加で開かれました。

川野 弘之事務局長がお祝いの挨拶を述べるとともに、リーグ戦の表彰が植山 良和会長から、トロフィーの授与が行われました。

総会は、参加者が審判の有資格者となる条件としており、熱心に総会議案についての説明を聞き入っていました。

午後からは審判技術の講座が設けられていました。

＜スキー協議会＞

7月1日（日）大阪スキー協の第44回定期総会がアネックスパル法円坂4号室にて開催されました。

これには渡邊 紀雄府連盟理事長が挨拶に駆けつけました。

総会では、会員の創意と参加で行事を成功させよう。会員300名達成に向け会員を増やそう。「スキーメイト」「スポーツのひろば」の読者を増やそう。クラブの活動を活性化し、クラブ間交流を深めよう。指導員は教程普及の先頭に立とう。東日本大震災の復興に協力しようなどの事が討論され、新しい体制を決めました。

